

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	開設当初から職員の意見を踏まえて一緒に考えた理念である。理念は玄関・食堂・廊下に掲示し日々のリハビリ時レクリエーション・食事前に唱和し理念を元にしたケアの実践に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で苑内の行事になり、地域の方との交流はできていないが、利用者の知人や近隣の方から野菜等頂いている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症ケアの専門として地域住民の方の相談を受け、認知症の症状や支援方法など説明し、相談にのっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は各ユニットの家族代表や駐在所・保育園関係者等多職種の参加がある。今年はコロナの関係で会議ができず、毎回ではないが文書にてサービスの状況報告を行った。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>市職員との日常的な協力関係ができており相談アドバイス指導助言を頂いている。生活保護受給者の方の担当者との面談も毎年あり協力関係も築くように取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員全員が身体拘束による弊害を理解し日々のケアの中で抑制になる言葉には注意を行い職員間で互いに気を付けるようにしている。月1度の職員会議で資料化し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全職員が日常何気ない言動の中で虐待がないか、お互いが気を付け十分に注意を行うよう努めている。勉強会も定期的に行い虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員会議等で権利擁護に関する勉強会を行い理解・活用し支援できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に受診体制・利用料・考えられるリスクや心身の状態の変化に伴い契約解除に至る場合も含め十分な説明を行い家族の不安や問題点等ないか確認しながら納得した上で決定・同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍で面会を最小限にとどめて頂いている為、毎月利用者の日常生活の様子をできるだけ詳しく安心して頂ける様、手紙にて送付している。利用者が日常の中で意見や要望を言える環境作りを行い家族様とも気兼ねなく意見等が言える信頼関係を築いている。出た意見等も検討し運営に反映している。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は職員と必要時に応じて随時個人面談を行い意見要望を聞き取りをし、職員会議等で話合っている。利用者の状況・状態に合わせて必要な物品の購入もして頂きサービス向上に反映させている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格取得に向けた支援を行い取得者については給料のアップを行い、やりがいや向上心を持って働けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修内容に応じ対象スタッフへの参加の促しを行い参加した研修内容を職員会議等にて報告している。又月1回の職員会議で勉強会を行い自らの向上に働きかけている。現在コロナ禍のためリモート対応で参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡会の中で学習会があり他のグループホーム等と交流があり、相談や情報交換を行いサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス利用開始前に本人・家族と面談を行い身体状態・生活歴・心配事や思いや希望を聞き安心して生活ができるように努めている。又、可能な限り入居前に見学をして頂き安心して入居ができるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを開始する前の段階で家族・本人と面談し不安や困っている事、要望等を聞き思いを受け止め家族が安心できるように信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始前の段階で本人・家族が必要とする支援を見極め対応し、不可能な事は他のサービスが受けられるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者を人生の大先輩とし尊敬し教わる事も多く、一緒に生活する家族と位置付け互いに支え合い安らげる関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日常生活の様子や日々の状態変化等を家族に伝え情報を共有化し家族でしかできない事は協力して頂き家族との絆を大切にし家族と同じ気持ちで一緒に支えていく関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのかかりつけ医への通院や往診を受けている。コロナ禍で外出制限をしているが、馴染みの人や場所との関係が途切れないようにしている。コロナの発生状況に注意し併設のデイサービスの馴染みの利用者との交流もある。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの性格や相性・心身の状態を把握し利用者同士が関わり支え合えるように支援している。座席も相性や特徴を理解した上で考え楽しく会話できるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	コロナ禍の中で面会や訪問は難しいが契約が終了されても定期的に電話等行い少しでも安心して頂けるようお話できる機会を作って関係性が途切れないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の表情や状態から利用者様の思いや考えを把握し本人らしさが出るように支援している。1日の生活の中で一人ひとりとゆっくり話をする時間を設けている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴を知り歌が好きな方、塗り絵が得意な方、散歩を良くされていた方等、これまでの生活習慣をご本人だけでなくご家族やこれまで関わってきた方々から情報を提供して頂きできるだけ今ままでと変わらない生活ができるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりに応じて生活できるよう日々の暮らしから本人が持っている力量・本人の思いに共感し支援している。また介護記録を確認し現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンスや3ヶ月毎のモニタリングを実施し必要に応じてご家族や本人からも情報を提供して頂きアセスメントを行い現状に即した介護計画の見直しを行い作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の日々の様子や変化・職員が気付いたことを細かく、日中・夜間帯に分けて記録し職員間で情報共有しケアの実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者一人ひとりのその時々ニーズ、突発的なニーズ（外出等）に柔軟な支援をしている。毎月のカンファレンス時に支援方法について話合っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し本人が望む暮らしが楽しく生活する上で必要な資源を見極め支援できるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時、家族・本人とかかりつけ医を決め受診や訪問を受けている。医療連携を行い主治医と連携し適切な対応・医療を受けられるように支援している。家族が付き添いの受診時は本人さんの様子や状態をしっかり伝え適切な医療を受けられるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々日常生活の中で心身の状態観察を行い変化に気づき看護職員や訪問看護師に伝え相談し適切に看護や受診ができるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院期間が2週間過ぎ15日目より介護保険の自己負担が発生するため家族を交えて担当医と話し合いホームでの対応が可能な段階でできるだけ早期退院ができるように取り組んでいる。病院と情報交換し入院・入院中・退院時の必要とする支援や状態の経過による支援方法等の連携を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時重要事項説明書に重度化や終末期にむけた指針があり本人・家族に説明をし希望を聞き職員も含めた全員で情報共有している。利用者の状態変化に伴い主治医の判断を頂き家族・職員と話し合い方向性を共有しホームでできる限りの看取りケアを行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し急変や事故発生時に生かせるように初期対応や応急処置の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回訓練を行っている。玄関に防災頭巾を準備し食料等備蓄も準備している。居室入口に移動手段を明記し工夫している。災害時に地域の方々から協力が得られるよう連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員で勉強会を行っている。日々不適切な言葉使いや対応がないように注意し日々のケアに取り組んでいる。一人ひとりを良く理解しその方にあった声かけ対応を行っている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で自己決定を原則とし希望や思いを表せる方はもちろん自分から表せない方には選択肢をあたえ表情や言動からも読み取り自己決定に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のペースに合わせて睡眠・食事時間・入浴・散歩・外食等柔軟にその方の希望や状態に合わせた支援に取り組んでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人や家族と相談し季節毎の衣類を準備してもらっている。洋服選び・更衣・整髪等自分でして頂けない時支援を行っている。散髪・顔そり・化粧の支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	家庭菜園があり成長や収穫を楽しまれている。地域の方や家族から野菜の差し入れがあり下準備等して頂き食事への関心を高めて頂いている。行事食・誕生会には特別メニューにて時にはバイキング料理・外での食事も行い楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせた食事形態・量・嗜好品・季節の野菜を中心とした食事で栄養バランスの取れた食事を提供している。又、状態に応じて主治医処方経口補助飲料にて支援している。食事・水分量は毎日チェックし管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力量に合わせて毎食後の口腔ケアを行っている。義歯は毎晩外し週1回は薬剤による洗浄を行っている。口腔内の状態を確認し適切に必要な受診ができるように支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し声かけや誘導にてトイレでの排泄を促し自立に向けた支援を行っている。排泄は毎日チェックし管理に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は便秘の原因と及ぼす影響を十分に理解している。自然排便のコントロールができるように野菜中心の食事・乳製品摂取・水分・運動・マッサージによる支援を行っている。又自然排便が困難な方には主治医に報告・相談を行い薬による排泄支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉を楽しめる環境にある。本人の好みの湯加減や希望に応じて入浴順番や時間・日にちを考え柔軟に支援している。入浴が難しい方は清拭を行い清潔維持に努めている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や日中の活動量も注意しその時々状態に応じて時間や場所ゆっくり休めるように支援している。日中も自由に休息できるように雰囲気・環境作りに努めている。不眠の方に対しては主治医に相談を行い薬を含めた安眠対策を支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	介護記録に薬の説明書をファイルし、いつでも目的・内容・副作用が把握できるようにしている。薬の管理は苑にて行い服用時は誤薬等事故がないように日付・名前を読み上げ服用終了まで確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事が得意な方・体を使い事が得意な方等一人ひとりの生活歴に応じた支援を行っている。食事の挨拶当番をして頂き役割を持ち旬の果物や食べたい菓子等は聞き味わえるように楽しんで頂いている。気候が良い日は外気浴・散歩など気分転換の支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍の中感染予防にて外出が困難となっているが一人ひとりの心身の状態観察を行い必要な方は家族と協力し感染予防に十分注意を払い短時間の外出支援を行っている。又苑の近くを散歩する等感染予防に努めながら楽しんで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>原則としてお金の管理は家族にして頂いている。一人ひとりの希望や安心感・力量に応じて多少ではあるが、お金の管理をして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者の希望に応じて家族や友人・知人への電話の支援を行い年賀状・暑中見舞いに一言添えて大事な方へ送っている。受け取られた家族等も大変喜ばれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関や居間には季節を感じさせる壁掛けや花、季節の飾り付けを行いトイレ臭や排泄臭には特に注意しスプレーや消臭剤を使用し不快を感じさせないように気をつけている。廊下やホールに掲示してある写真を見ながら会話を楽しまれている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関内外・廊下・居間にテーブル・椅子・ソファを設置し利用者が安心して過ごして頂ける環境作り・自由にくつろげる空間作りに努めている。又一人の時間も大切に自由で過ごせる支援も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベッドは備付けであるが他の家具等は使い馴れた物を持ち込んで頂き一人ひとりの好みと使いやすい配置で安全に過ごせるようにしている。位牌や写真の持込みも多く手を合わせられる姿もみられる電動ベッドが必要な方には苑のベッドを使用して頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ベッド柵は利用者の身体状況に合わせた高さ・長さになっている。居室入口には表札を準備しトイレ・フロ等共用の空間には表記した札を設置して自立に向けた工夫をしている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない